

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について
(平成26年7月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成26年7月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成26年6月検針分に適用の料金に比べ0.43円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成26年7月検針分の単位料金は、平成26年2月から平成26年4月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に34㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成26年6月検針分に比較して、14円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表			(消費税込)		
	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成26年7月適用 単位料金(円/㎡)	平成26年6月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	799	191.59	192.02	171.12
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,305	166.27	166.70	145.80
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,602	160.33	160.76	139.86
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,155	152.56	152.99	132.09
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,303	147.79	148.22	127.32
料金表F	750㎡をこえるもの	10,649	140.66	141.09	120.19

標準家庭における影響			(消費税込)
1か月のご使用量	平成26年7月検針分の料金	平成26年6月検針分の料金	影 響 額
34㎡ (45MJ/㎡)	6,958円	6,972円	▲14円

原料価格の変動	
基準平均原料価格 (a)	41,190 円/t
平成26年2月～平成26年4月の 平均原料価格 (b)	64,950 円/t
LNG価格	88,840 円/t
LPG価格	99,650 円/t
差 額 (b-a)	23,760 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³当たりの単価）を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格（41,190円/t）と「平均原料価格（料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0864円（0.080円に1.08（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が65,900円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は65,900円としてガス料金の調整を行います。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	（貿易統計ベース）	88,840 円/t	×	0.6745
+	LPG平均価格	（貿易統計ベース）	99,650 円/t	×	0.0505
			64,954.905 円		
			↓（10円未満四捨五入）		
			64,950 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定（基準平均原料価格 41,190円/tからの変動額）

$$64,950 \text{ 円/t} - 41,190 \text{ 円/t} = 23,760 \text{ 円/t}$$

$$\downarrow \text{（100円未満切り捨て）}$$

$$23,700 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額（1m³当たり調整額）の算定

$$\text{単位料金調整額} = 23,700 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0864 = 20.4768 \text{ 円}$$

$$\downarrow \text{（小数点第3位以下切り捨て）}$$

$$20.47 \text{ 円}$$